

## FFGS ポストプレスソリューション採用事例 ～株式会社木戸製本所（新潟県）～

### 現場環境に合った機種・仕様の提案により 「生産性向上・コスト削減効果」が最大化。

上製本から並製本、折り、差し込みまで、さまざまな後加工を手がける木戸製本所。梱包作業は従来、人手で行なっていたが、時期によって仕事量の変動が大きく、繁忙期には派遣スタッフを入れ、最大 7～8 人の作業となっていた。また、同社は中綴じ・無線綴じなど複数の製本ラインを持っているため、各ラインから梱包に移る際、一度パレットに積んでから運搬する必要があり、そこでも労力と時間がかかっていた。こうした状況の中、作業の省人化、コスト削減のため、機械化を検討していたが、木戸社長によると、「手ごろな価格で、中綴じにも無線綴じにも対応できる梱包機がなかなか見つからず、なかなか導入に踏み切れなかった」という。



代表取締役・木戸敏雄氏

FFGS の提案でクラフト完全自動包装機を導入したのは約 2 年前。1 台でさまざまなサイズ・製本形態に対応でき、梱包スピードも上がったため、作業効率が格段にアップ。わずか 2 名のオペレーターで運用が可能になり、繁忙期の増員の必要もなくなった。また、使用する製本ラインの近くまで機械を移動し、ニアラインで作業できる点も、効率化につながっている。



木戸社長は、導入時の FFGS のサポートについて、「当社の課題をよく理解していただき、そのうえで現在の設備環境に最も適した機種・仕様を提案していただけたので、非常に効率的に運用できている」と高く評価。また、「中立的な立場からの意見・判断が得られる」ことも、サポートのメリットとして挙げる。

「後加工機は、ユーザーにとってブラックボックスの部分が多いように思います。たとえば、ある部品が壊れたときに、自分たちの使い方が悪いのか、もともとその部品に不良があったのか、判断がつかない。しかし FFGS さんなら、いろいろなメーカーさんの製品を扱っていますから、客観的に検証していただけます。活用していくうえでの安心感が違いますね」

創業から 68 年におよぶ歴史の中でさまざまな後加工ノウハウを培ってきた木戸製本所は、いま、デジタル印刷時代の小ロット製本においてその強みをさらに活かすべく、無駄の削

減、生産効率アップに取り組んでいる。それをサポートする **FFGS** のポストプレスソリューションの意義について、木戸社長は「機械単体ではなく、生産工程全体を把握したうえで実践的な提案をいただけるので非常にありがたい」と語り、同ソリューションが工程改善に大きく貢献していることを強調した。



木戸製本所は 2017 年 8 月、東京・中央区にデジタル印刷専用の製本工場『入船製本工房』(<http://i-seihon.com>) をオープンし、都内の印刷会社などから好評を得ている。Web サイトから簡単に見積もり・発注が可能で、中央区・千代田区・港区・江東区では集荷・納品にも対応する。問い合わせは 03-6280-4448 まで。